

「女性の就業に関する1万人調査2023」

非就業者の3人に1人「すぐにでも／よい仕事があれば職業を持ちたい」

コロナをきっかけに重視するようになった就業条件「安心して働けそう」

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の調査研究機関『ジョブズリサーチセンター（JBRC）』（<https://jbrc.recruit.co.jp/>）は、「女性の就業に関する1万人調査2023」を2023年2月に実施し、調査結果をまとめましたのでご報告致します。詳細につきましてはレポート（https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20230428_2653.html）をご覧ください。

■ 解説



ジョブズリサーチ
センター長
宇佐川 邦子

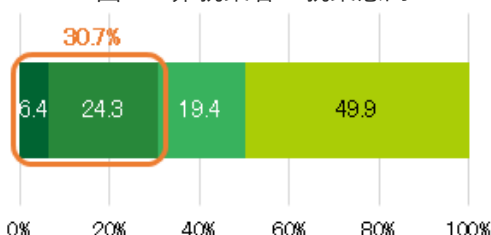
「女性の就業に関する1万人調査」は2013年と2019年に実施し、今回は3回目の調査となります（2013年は「主婦の就業に関する1万人調査」として実施）。今回の調査では、非就業者のうち3人に1人は「すぐにでも／よい仕事があれば職業を持ちたい」と考えていることが分かりました。この結果は2019年調査時と比較して大きく変化していません。コロナ禍を経て人材不足感が悪化し、企業の求人ニーズは増加しているにもかかわらず、働きたいと思っていても働いていない人が一定数存在しています。その背景には、子育てや家事など制約があるなかで就業条件が満たされていないこと、本人たちのできること・やりたいことが不明瞭であるため働くことへの不安感が捨て

きれないことなどが考えられます。正社員・フルタイムの求人だけでなく、短時間の求人を創出していくことや、本人のできること・やりたいことを言語化するサポートも求められますが、たとえできること・やりたいことが分からなくても一歩踏み出せる、働くことへのハードルを下げる取り組みも必要になるでしょう。加えて、弊社としては「よい仕事があれば職業を持ちたい」人たちの「よい仕事」とは何か、「いずれは職業を持ちたい」人たちの「いずれは」とはいつか、をより掘り下げていきたいと思えます。

■ 調査結果① 非就業者のうち「すぐにでも／よい仕事があれば職業を持ちたい」3人に1人

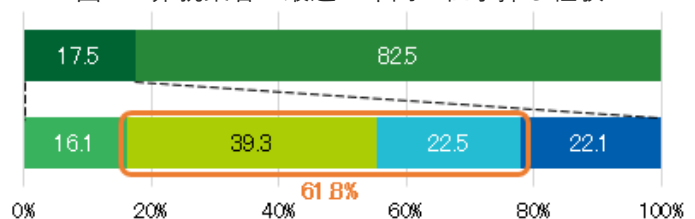
非就業者（n=3,980）のうち今後の就業意向について、「すぐにでも／よい仕事があれば職業を持ちたい」と回答した人は30.7%でした（図1）。また、非就業者のうち、最近1年間（2022年3月～2023年2月）で実際に仕事探しをした人は17.5%で、そのうちの6割は「仕事探しをしたが、見つからずに、現在も仕事探しの最中／現在は仕事探しをやめている」と回答しました（図2）。現在は非就業だが、働きたいと思っている人や実際に仕事探しをしている人でも、仕事が見つからない人が一定数いることが分かります。

図1：非就業者の就業意向



- すぐにでも職業を持ちたい
- よい仕事があれば職業を持ちたい
- いずれは職業を持ちたい
- 職業を持つつもりはない

図2：非就業者の最近1年間の仕事探し経験



- 仕事探しをした
- 仕事探しをしていない
- 仕事探しをして、新しい仕事が決まった
- 仕事探しをしたが、見つからずに、現在も仕事探しの最中
- 仕事探しをしたが、見つからずに、現在は仕事探しをやめている
- 仕事探しを始めたばかり

2023年4月28日

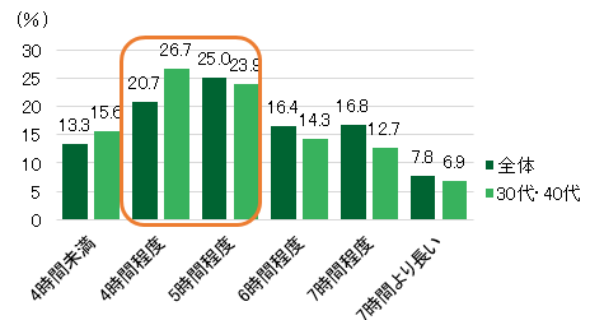
■ 調査結果② 非就業者の理由「働く時間がない」「働く必要がない」「仕事をする自信がない」

非就業者の現在働いていない理由について聞くと、「家事、育児、介護などで働く時間がないので」18.5%、「経済的に働く必要がない、働かなくてもやっていけるので」13.6%、「仕事をする自信がないので」13.5%が上位3項目でした（図3）。特に、子育て世代の30代・40代では「家事、育児、介護などで働く時間がないので」が多く、ブランク期間が長くなると「仕事をする自信がないので」の回答が多くなっています（基本報告書 P44）。家事・育児・介護とも両立しながらでも働ける短時間の仕事を増やすことが重要になるでしょう。実際、非就業者のうち、特に子育て世代の30代・40代では4時間程度を希望することが多いことも調査を通して分かりました（図4）。

図3：非就業者の働いていない理由

順位	理由	(%)
1位	家事、育児、介護などで働く時間がないので	18.5
2位	経済的に働く必要がない、働かなくてもやっていけるので	13.6
3位	仕事をする自信がないので	13.5
4位	病気・けがなどの健康的な理由で難しいので	13.2
5位	通学しているため、今後通学する予定があるため	4.7

図4：非就業者の希望就業時間



また、非就業者が就業にあたり感じる不安について聞くと、「人間関係においてうまくやっていけるか」41.9%、「体力面で感じる不安」40.2%などが上位に上がりましたが（図5）、「自分には何ができるかわからない」「仕事をするにあたって足手まといにならないか」といった不安も多く、特に就業意向の高い「すぐにでも職業を持ちたい」層にこの傾向が見られました（基本報告書 P41）。「家事、育児、介護などで働く時間がない」だけでなく、自分に何ができるか、何がしたいか、が不明瞭であるため働くことへの不安感が捨てきれず、一歩踏み出すことができない状況がうかがえます。

図5：非就業者の就業への不安

順位	不安の理由	(%)
1位	人間関係においてうまくやっていけるか	41.9
2位	体力面で感じる不安	40.2
3位	年齢制限によって仕事が見つけにくいのではないかと	32.7
4位	新たに仕事を覚えることができるか	32.3
5位	家事と両立させることができるか	29.1

■ 調査結果③ 就業条件の重視項目 コロナで重視するようになった項目「安心して働けそう」

仕事を選ぶ際に重視する項目を聞くと、「安心して働けそうであること」72.9%、「休暇をとりやすいこと」67.5%、「通勤の便が良いこと」67.4%が上位に上がりました（図6）。2019年調査時は「通勤の便が良いこと」「安心して働けそうであること」「希望する職種、仕事内容であること」が上位3つであったことを踏まえると、コロナ禍を経て、女性の就業感に変化があった様子がうかがえます（※回答者の年齢は2019年18～65歳、2023年18～69歳のため、回答者の属性の違いに留意が必要）。また、「たいへん重視する」「重視する」と回答した項目のうち、コロナをきっかけにより重視するようになったものを聞くと、「安心して働けそうであること」22.9%、「休暇をとりやすいこと」20.8%、「長く働けそうであること」17.2%が上位3つでした（図7）。

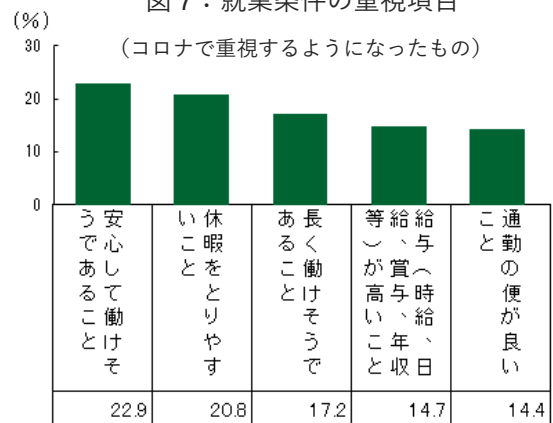
2023年4月28日

図6：就業条件の重視項目

順位	項目	(%)	2019年順位
1位	安心して働けそうであること	72.9	2位(↑)
2位	休暇をとりやすいこと	67.5	6位(↑)
3位	通勤の便が良いこと	67.4	1位(↓)
4位	希望する勤務地であること	66.3	4位(→)
5位	希望する休日、残業、勤務時間であること	64.7	9位(↑)

※「たいへん重視する」+「重視する」の割合

図7：就業条件の重視項目



■ 事例紹介～ 短時間勤務×「ダブルワークOK」「子育て両立」で新たな人材を呼び込む～

三重県で土産物店を営む「珍海堂」では、これまでの求人は正社員としてフルタイムの勤務を求めてきましたが、年間休日も少なく待遇面で突出した優位性の少ない同社では採用にいたらず、採用手法に行き詰まりを感じていました。そこで、鳥羽市が主催した就労促進策「とばびと活躍プロジェクト」のセミナーに参加し、そこで得た「プチ勤務」という短時間勤務の訴求を行うことによって、**高齢化率が約40%の三重県鳥羽市において、また従業員数16名の同社において、子育て中の女性2名を採用することに成功しました。**また、子どもの突発的な熱などのタイミングでは全員でサポートする体制をつくり、ブランク期間を不安に思っている人には、慣れるまではさらに短時間の勤務も可能にするなど、働くことへのハードルを下げ、少しずつ慣れていける職場づくりを行っています。

珍海堂社長 水谷さん

プチ勤務のターゲットに向けて募集情報の表現を見直し、「1日4時間～でOK」「週3～4日可」などのメッセージを打ち出し、残業がなく、応募者の事情にあわせた柔軟な働き方ができるため、ダブルワーク希望者や子育て中の主婦（夫）も働きやすいという情報も盛り込みました。また、面倒見の良い社風を伝えて、応募者の不安を払しょくすることも心掛けました。

2歳の子どもを育てる千葉さん（仮名）

子どもが2歳になったので仕事に復帰したいと思っていました。しかし、子育てと両立できそうな条件の会社がなかなか見つかりません。そんな中、「子育て中でも働ける」という珍海堂の募集を見て、ここしかないと思募しました。面接で「週3～4日で構わない」「土日祝は休みをとっていい」と聞き、夫とも相談してここで働くことを決めました。



※詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【今後のリリース予定】

- ・基本報告書
- ・20～49歳の既婚・子供あり女性【就業者編】の就業意識
- ・20～49歳の既婚・子供あり女性【非就業・就業意向編】の就業意識
- ・ミドルシニア～シニア女性（50歳以上）の就業意識

本日リリース
6月下旬予定
7月下旬予定
8月下旬予定

2023 年 4 月 28 日

■ 調査概要

	女性の就業に関する 1 万人調査 2023
調査目的	・女性の就業実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
対象者条件	・全国 18～69 歳の女性
調査期間	スクリーニング調査 2023 年 1 月 31 日（火）～2 月 2 日（木） 本調査 2023 年 2 月 14 日（火）～2 月 20 日（月）
有効回答数	10,000 人 スクリーニング調査での出現に合わせて、年齢・就業状況で割り付け

※グラフと数表は、集計結果の小数点以下第 2 位を四捨五入して表示している。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、↓社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。←

詳しくはこちらをご覧ください。↓

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>←